

一日断酒
例会出席

断酒あしや

芦屋断酒会

〒659-0025 芦屋市浜町 4-2

TEL & Fax : 078-882-0143

4月*月曜例会
4月

7日(月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
14日(月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
*総会 21日(月)	19:00~20:45	芦屋市民センター (211)
28日(月)	19:00~20:30	芦屋市民センター (211)

*芦屋役員会 12日(土) 18:00~ 芦屋市民センター (212)

*金曜例会 (木口記念会館)

*4/4(金)、4/11(金)、4/18(金)、4/25(金) 19:00~20:45 3階大会議室 B

* (のぞみ会) 例会案内

4月11日(金) 10:00~12:00 芦屋市民センター (212)

4月28日(月) 19:00~20:30 芦屋市民センター (212)

*酒害相談 4月15日(火) 13:30~15:00 芦屋健康福祉事務所

栃木県断酒ホトギス会、和歌山断酒道場前道場長故児玉正孝先生訓話集より引用

「反省、感謝、報恩」

口先だけの反省でなく本当の裸の自分を見つめた場合、今日こうして生きておられるのは一体誰のおかげであるか、普通の人間ならばよく解ることです。

ここに気が付けば感謝の念が胸底から泉の如く突き上げてくるものです。そうなれば、とにかく何とかしてこれまでの報いをしなくてはならない、という感情にかられ、居てもたってもいられなくなれば嘘だと思えます。ここで初めて本当の反省がなされ、人間らしい感謝の気持ちがよみがえり、それが報恩という行動になって出てくるのです。何も一つ一つに区切りのあるものでなく、一連のものです。

また、これはスローガンでも標語でもありません。お互い一人一人が、自分の身で感じ、そして実行すべき問題なのです。何も金を儲けることが報恩ではありません。一番身近な家族の人が喜んでくださる事柄から始めるべきです。思い立ったら、その場から実行するのです。いつかはきっと・・・などと甘い考えでいるようでは、いつまでたっても出来るものではありません。

人間の生活は常に死と対面したものであることを考えれば、明日からなどといっていられないはず。背負いきれぬほどの借りのある身であることを自覚すれば、素直な気持ちで実行できるはず。

報恩などという大それた考えを持っていたのでは駄目です。やむに已まれぬ純真な気持ちからの手近な善意の発揮が、実践した小さな報恩となっていくのです。要は気持ちの持ち方一つです。

素直な気持ちで実践した小さな善意によって、今度は善意を行う喜びといったものを知ることができるのです。

4月 5日(土)	県役員会	18:00~
4月 6日(日)	尼崎市断酒会15周年記念研修会	10:00~16:00 小田南生涯学習プラザ
4月13日(日)	堺市断酒連合会55周年記念大会	12:00~16:00 堺市総合福祉会館
5月 3日(土、祝)	県役員会	15:00~
同上、	滋賀県断酒同友会48周年記念例会	12:00~ 滋賀県立男女参画センター
5月 5日(月、祝)	京都府断酒平安会52周年一日研修会	10:00~ひとまち交流館京都
5月 6日(火)	吹田市50周年記念大会	12:30~ メイシアター中ホール

…断酒例会は体験談に始まり体験談におわる…